

DOWA

**2009年度第1四半期
決算補足資料**

2009年7月30日

DOWAホールディングス株式会社

2009年度第1四半期の総括

■ 金属価格、為替の影響

		'08-4Q実績	'09-1Q実績	'09前提条件
為替	円/\$	93.7	97.3	95.0
銅	\$/t	3,426	4,660	4,200
亜鉛	\$/t	1,173	1,473	1,350
インジウム	\$/kg	333	309	350

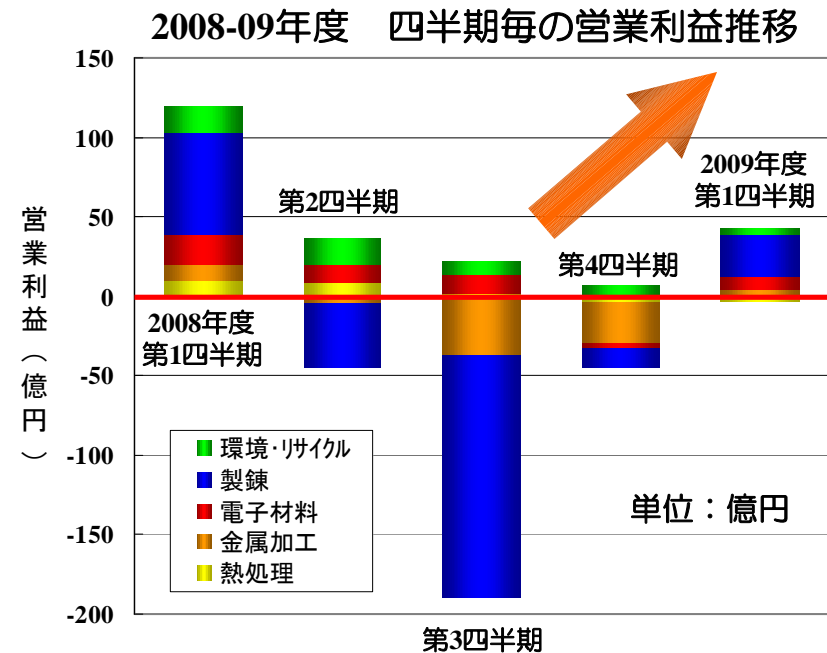
- ◆ 金属価格、為替は概ね前提条件を上回って推移
第1四半期に発生した時価・簿価差と低価法および為替の影響は+18億円

■ マーケット状況

- ◆ エレクトロニクス関連、車載電装品関連では、前年4Qを底に需要が急回復
6月には前年上期比70~80%の生産水準、中でも銀粉は太陽電池向け販売増も加わり、過去最高の生産量に
- ◆ 一方、環境関連、工業炉などの設備投資関連は回復鈍い

■ コストダウン

- ◆ 各種施策を着実に実行 → 年間100億円の計画に対し、1Qで30億円を達成



構造改革の進捗状況

～低操業下でも利益の出せる体制へ～

■拠点再編

- ・ 電子材料 フェライト粉生産拠点の集約
⇒6月末にシンガポールからの事業撤退完了、生産を国内工場に集約
- ・ 金属加工 伸銅2工場の操業一体化による最適生産体制の構築
⇒開発・生技部門の統合、一部銅合金の鋳造・仕上げ圧延を移管
- ・ 熱処理 生産効率の高い工場への集約
⇒横浜工場での加工を太田工場へ移管、工業炉製造を3→1拠点へ

■人員計画 (DOWAグループ全体)

2008年3月末 5,600人 → 2009年3月末 5,000人 → 2009年6月末 4,880人 → 2010年3月末計画 4,700人

※ MAEH社の人員は除く

■コスト削減

		年間計画	1Q実績
・ 人件費	給与カット、賞与への業績反映など	60億円/年	15億円/3ヶ月
・ 経費節減	物品費削減、出張旅費規程見直しなど	10億円/年	6億円/3ヶ月
・ 操業改善	エネルギーコスト、修繕費圧縮など	30億円/年	9億円/3ヶ月

主要製品 生産量/処理量実績(増減率)

		前年同期比			2008年度上期比			前年4Q比
		2008年度			2008年度		2009年度	2009年度
		上期実績	3Q実績	4Q実績	3Q実績	4Q実績	1Q実績	1Q実績
環境・ リサイクル	廃棄物処理量	△0.8%	△4.0%	△19.0%	△1.0%	△16.4%	△9.1%	➡ +8.8%
	花岡土壌処理量	△16.7%	△25.9%	△42.8%	+32.5%	+5.2%	△11.1%	△15.5%
製 錬	金	△66.4%	△28.9%	△58.3%	+24.5%	△5.2%	+84.8%	⬆ +94.9%
	銀	△57.7%	△18.8%	△31.4%	+11.4%	+0.0%	+31.4%	➡ +31.4%
	銅	△15.5%	+15.7%	△30.4%	△4.1%	△10.1%	△35.2%	△28.0%
	亜鉛	△5.1%	△16.5%	+3.0%	△8.3%	+10.0%	△0.2%	△9.3%
電子材料	化合物半導体	△6.1%	△47.3%	△74.4%	△46.1%	△74.1%	△48.7%	⬆ +97.8%
	LED	△23.3%	△46.2%	△45.9%	△29.8%	△44.5%	△27.4%	➡ +30.8%
	銀粉	+55.9%	△26.6%	△48.8%	△26.4%	△49.8%	+5.6%	⬆ 2.3倍
金属加工	伸銅品	+5.8%	△27.3%	△82.8%	△26.3%	△82.5%	△47.5%	⬆ 3.0倍
熱処理	熱処理加工	△5.7%	△35.7%	△68.2%	△23.4%	△61.3%	△52.0%	➡ +24.1%

※製錬部門は2008年度/1Qとの比較